

新たな総合計画 骨子素案【概要】

第1章 計画策定の基本的な考え方

【計画策定の趣旨】

近年、台風等の自然災害や新型コロナウイルスの感染拡大などにより、県民生活や経済活動に甚大な被害・影響が及んでいる。また、本県においても、今後、人口が減少していくことが見込まれており、地域経済の縮小や都市・集落の機能低下などが懸念される。

こうした中、県では、感染症や防災対策などの喫緊の課題に対応し、県民の命と暮らしを守るとともに、海と緑に囲まれた自然環境や優れた都市機能を生かし、豊かな県民生活を実現できる「千葉の未来」を切り開いていくため、新たな総合計画を策定する。

【計画の性格】

県政運営の基本となるもので、本県の政策の基本的な方向を、総合的・体系的にまとめた県政全般に関する最上位の基本的かつ総合的な計画。

【計画の構成と期間】

基本構想編：10年後の本県のあるべき姿とこれを達成するための目標と政策の方向性。

実施計画編：目標を達成するために、令和4～6年度までの3か年で重点的に実施する取組。

第2章 本県を取り巻く環境の変化と課題（基本構想編）

- (1) 感染症・災害等リスクの増大、(2) 暮らしの安全・安心の確保、(3) 人口減少・少子高齢化、(4) 社会経済情勢の変化、(5) 半島性の克服と活用、(6) 医療・福祉ニーズの増加と健康志向の高まり、(7) 環境保全・持続可能性、(8) 価値観・ライフスタイルの多様化、(9) デジタル社会の推進、(10) SDGsの推進、(11) 行財政改革の推進

第3章 千葉県が目指す姿（基本構想編）

本県を取り巻く環境の変化や課題・ニーズを踏まえ、総合計画の根本となる基本理念を掲げ、その実現に向けて、「危機管理」、「産業・社会資本」、「医療・福祉」、「子ども」、「共生」、「自然・文化」の視点から、6つの基本目標と本県の目指す姿を示す。

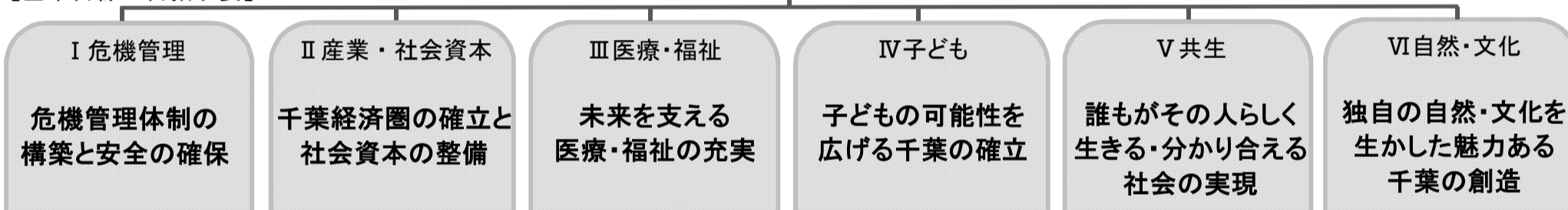
【基本理念】

～千葉の未来を切り開く～

「まち」「海・緑」「ひと」がきらめく千葉の実現

社会を取り巻く環境が複雑さを増し、将来の予測が困難な中でも、県民の命と暮らしを守るとともに、豊かな自然と文化、優れた都市機能を持つ千葉で、すべての県民が自身のライフスタイルを実現し、生きる価値、働く価値を感じられる「千葉の未来」を創造する。

【基本目標・目指す姿】



【県づくりの方向性】 地域の特性・地理的条件等を踏まえた6つのゾーンを設定し、それぞれの地域の方向性を示す。

第4章 施策横断的な視点（実施計画編）

1 県政運営を貫く3本の矢

- 千葉の総力を結集した県づくり
(県と市町村等との連携強化、民間活力の積極的な利用、県民との情報共有と協働、他都道府県との広域連携)
- 暮らしを豊かにするデジタル技術の効果的な活用
(デジタル技術の効果的な活用による地域課題の解決、行政手続きの改善、オープンデータ等の活用)
- 県民目線に立った効果的・効率的な行政体への変革
(行政基盤の確立と健全な財政運営、地方分権の推進)

2 SDGsの推進

3 カーボンニュートラルに向けた取組の推進

4 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーの活用

第5章 重点的な施策・取組（実施計画編）

